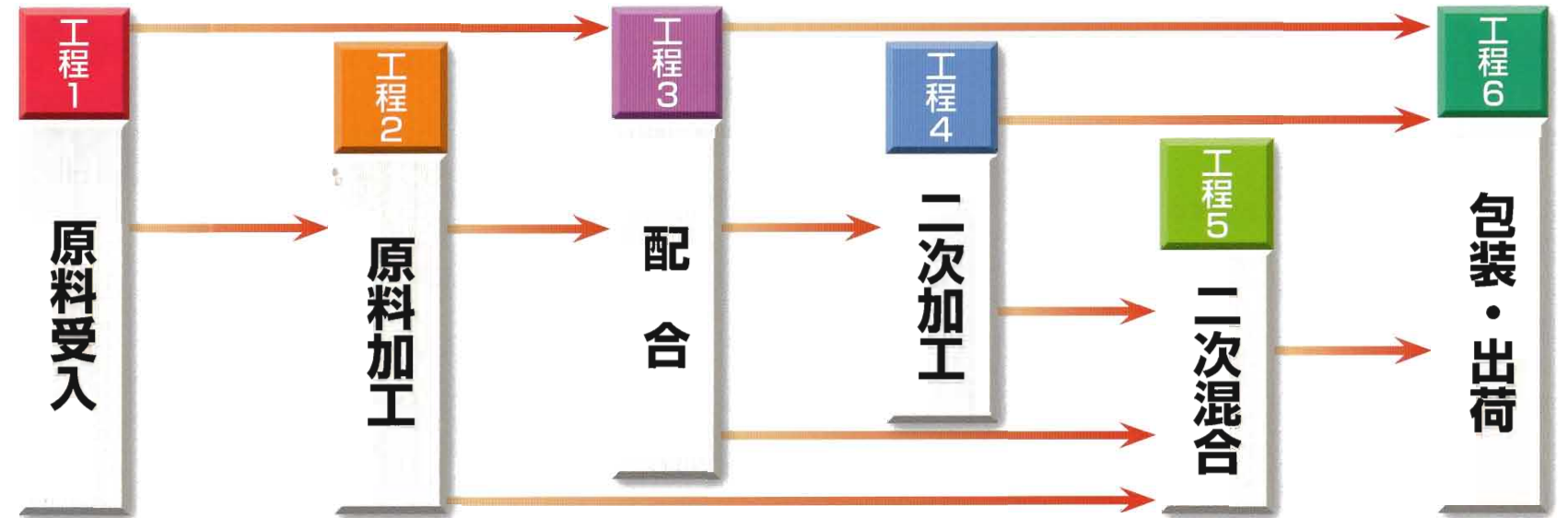


配合飼料の製造工程

～飼料ができるまで～

安全で高品質な畜産物を生産するために、配合飼料は欠かせません。配合飼料の原料となるとうもろこし、大豆かすなどをコンピュータ制御された製造工程で配合し、品質と安全性に優れた“くみあい配合飼料”をお届けしています。これからも、品質確認はもちろんのこと、これまで積み上げてきたノウハウを活かし、品質と信頼の向上に挑戦していきます。

配合飼料の製造工程図



工程1 原料受入

原料受入…とうもろこしや麦などは大型船でサイロ会社に搬入され、工場へ直結したコンベアラインやトラック等で受入を行います。その他の原料は、トラック等で工場内へ搬入されます。原料は品質チェック後、受入を行います。**消毒体制**…工場へ搬入する全ての車両は消毒ゲートで入念に消毒を行います。



船からの原料荷降ろし作業



トラックによる原料受入



消毒ゲート

工程2 原料加工

粉碎…とうもろこしや麦など粉碎が必要な原料は、粉碎機で粉碎します。その後、ふるい機で粒度ごとに分別されます。**圧ベン**…蒸気で蒸してフレーク状に加工します。加工後はアルファー化度が上がり、消化吸収や嗜好性の向上が期待されます。



粉碎機



圧ベン機

工程3 配合

計量…配合割合に応じて、原料を正確に計量します。それらの制御はコンピュータにより一括管理され、中央制御室のオペレーターによる監視を行っています。



中央制御室

混合…計量された原料は、ミキサーで均一に混合されます。混合された製品は品質チェックを実施し、次の工程へ送られます。



ツインパドルミキサー

工程4 二次加工

ペレット…配合飼料を微粉碎して蒸気を加え、円柱状に成型します。



ペレットマシン

エキスパンダーペレット…蒸気と圧力を加え、消化吸収を向上させるエキスパンダー加工を施した後、成型します。



エキスパンダー

クランブル…ペレットを粗く砕いたクランブル加工もあります。ひなへの給与やリキッドフィーディングに適しています。

工程5 二次混合

混合…圧ベンおよびペレットと原料（工程3で混合したものを含む）を再度混合します。嗜好性向上のため、糖蜜などの液体原料を添加することもあります。



カットブレンダー



ドラムミキサーによる混合

工程6 包装・出荷

出荷はバラ出荷をはじめ、トランスバッグ、紙袋包装などお客様のニーズに合わせた様々な形態があります。

バラ出荷…製品タンクから計量しバルク車へ積みこみ、



バラ出荷

生産者へ配送されます。多くの製品がこの方法で出荷されています。

トランスバッグ…専用の充填装置で配合飼料をバッグに充填します。容量は500kgや1000kgがあり、中継基地や一部の生産者へ配送されます。

BHK…主に中継基地への配送に用いられるFRP等でできたコンテナで



トランスバッグ充填

す。トランスバッグに比べ、配合飼料の配送が容易なのが特徴です。**紙袋**…20kgごとに紙袋へ充填されます。計量・ロット印字・袋口縫い・重量チェックはい付けまで自動化されています。

会社概要

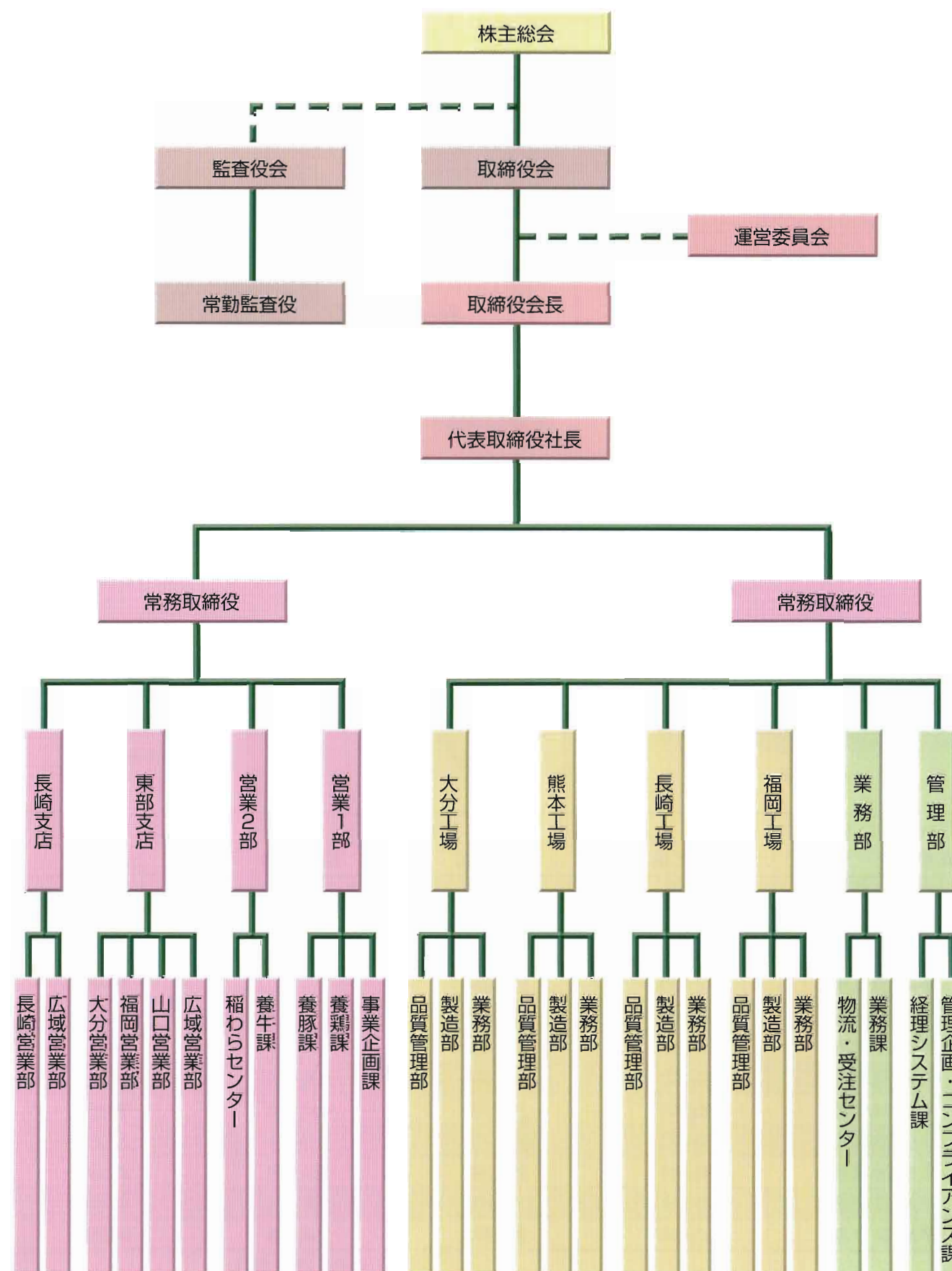
会社概要

- 名称 ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社
- 設立年月日 昭和42年7月13日
平成14年4月 地域別飼料会社として発足
- 本社所在地 〒810-0071
福岡市中央区那の津5丁目3番1号
TEL 092-738-0100
FAX 092-738-0115
- 資本金 20億円
- 株主および出資比率
 - 全国農業協同組合連合会 79.71%
 - 熊本県経済農業協同組合連合会 17.40%
 - 佐賀県農業協同組合 2.89%
- 事業内容
 - ① 飼料の製造および販売
 - ② 肥料の製造および販売
 - ③ 動物用医薬品の販売
 - ④ 農畜産物の加工、販売、家畜の取引
 - ⑤ 家畜・家禽類の飼育および生産に関する研究
 - ⑥ 畜産用機器・資材の販売
 - ⑦ 貨物利用運送事業法による利用運送業
 - ⑧ 倉庫業
 - ⑨ 家畜の診療
 - ⑩ 前各号に付帯関連する一切の事業
- 年間売上高 379億円 (平成28年度実績)
売上数量
配合飼料 746,767トﾝ
単味飼料 71,076トﾝ
- 従業員数 202名 (平成29年4月1日現在)

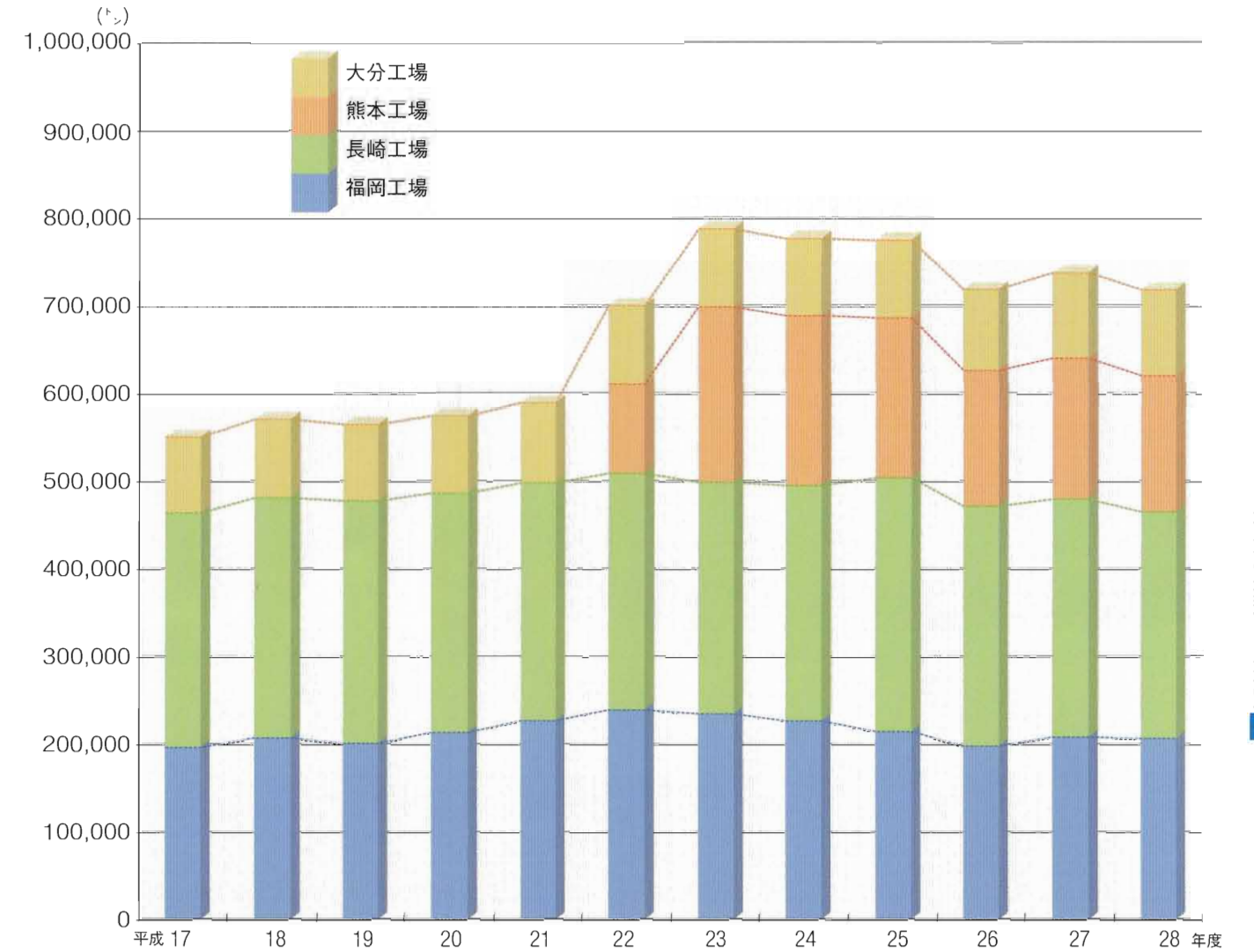
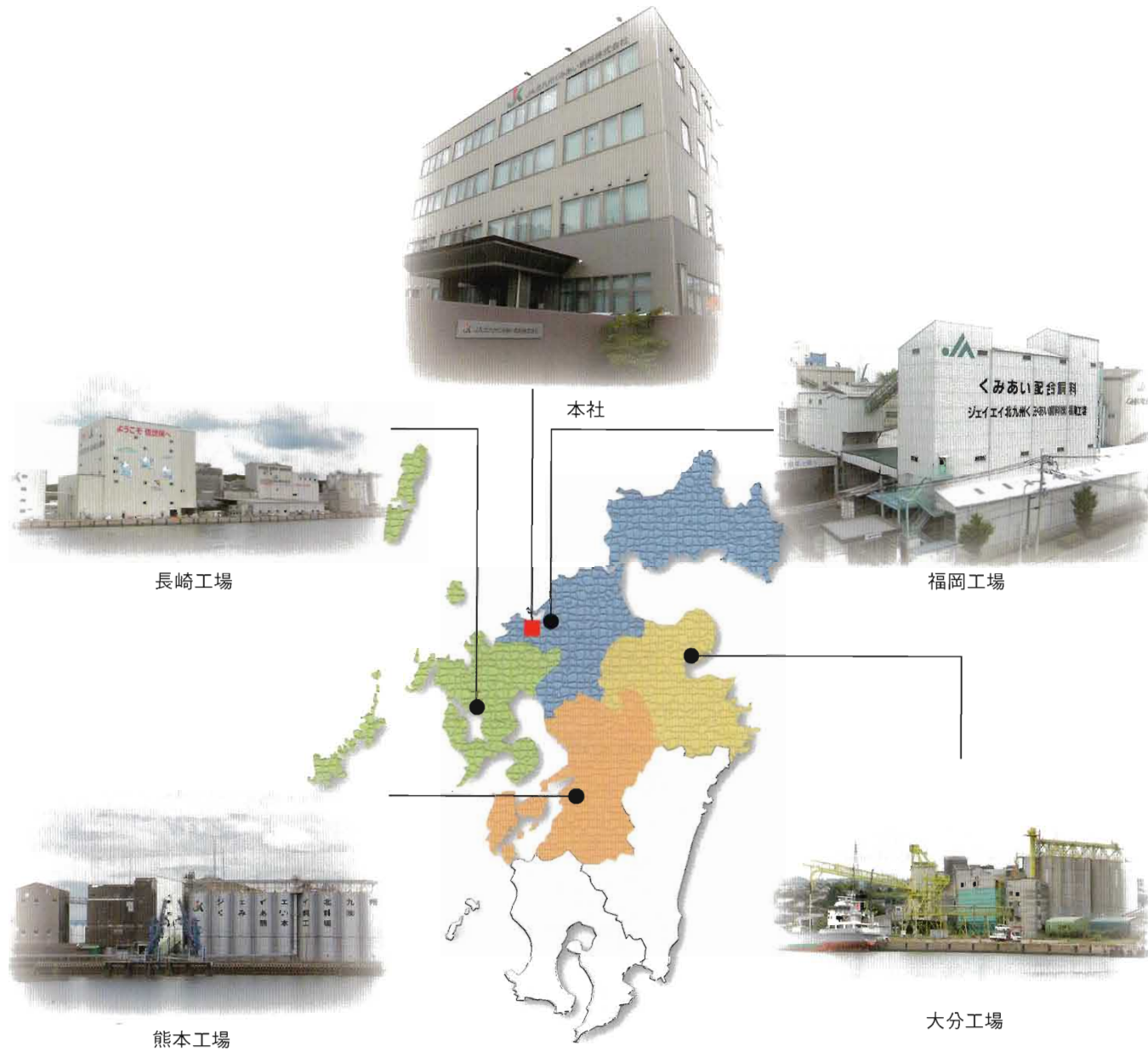
工場および支店

- 工場の名称および所在地
 - 福岡工場 〒810-0071
福岡県福岡市中央区那の津5丁目2番24号
TEL 092-771-9241
FAX 092-771-8990
 - 長崎工場 〒857-0852
長崎県佐世保市干尽町36番地
TEL 0956-32-1245
FAX 0956-32-7577
 - 熊本工場 〒866-0034
熊本県八代市新港町1丁目11番地
TEL 0965-37-1166
FAX 0965-37-1624
 - 大分工場 〒879-1505
大分県速見郡日出町大字川崎字浜田5969番地の10
TEL 0977-72-2224
FAX 0977-72-7189
- 支店の名称および所在地
 - 東部支店 〒810-0071
福岡県福岡市中央区那の津5丁目3番1号
TEL 092-734-5012
FAX 092-734-5028
 - 東部支店山口営業部 〒747-1232
山口県防府市大字台道字西津々路越442番地8
TEL 0835-32-2567
FAX 0835-32-2479
 - 東部支店福岡営業部 〒810-0071
福岡県福岡市中央区那の津5丁目3番1号
TEL 092-725-1406
FAX 092-734-5028
 - 東部支店大分営業部 〒870-0844
大分県大分市古国府1220番地
TEL 097-544-0138
FAX 097-545-1847
 - 長崎支店 〒850-0862
長崎県長崎市出島町1番20号
TEL 095-820-2188
FAX 095-823-5160

組織機構図



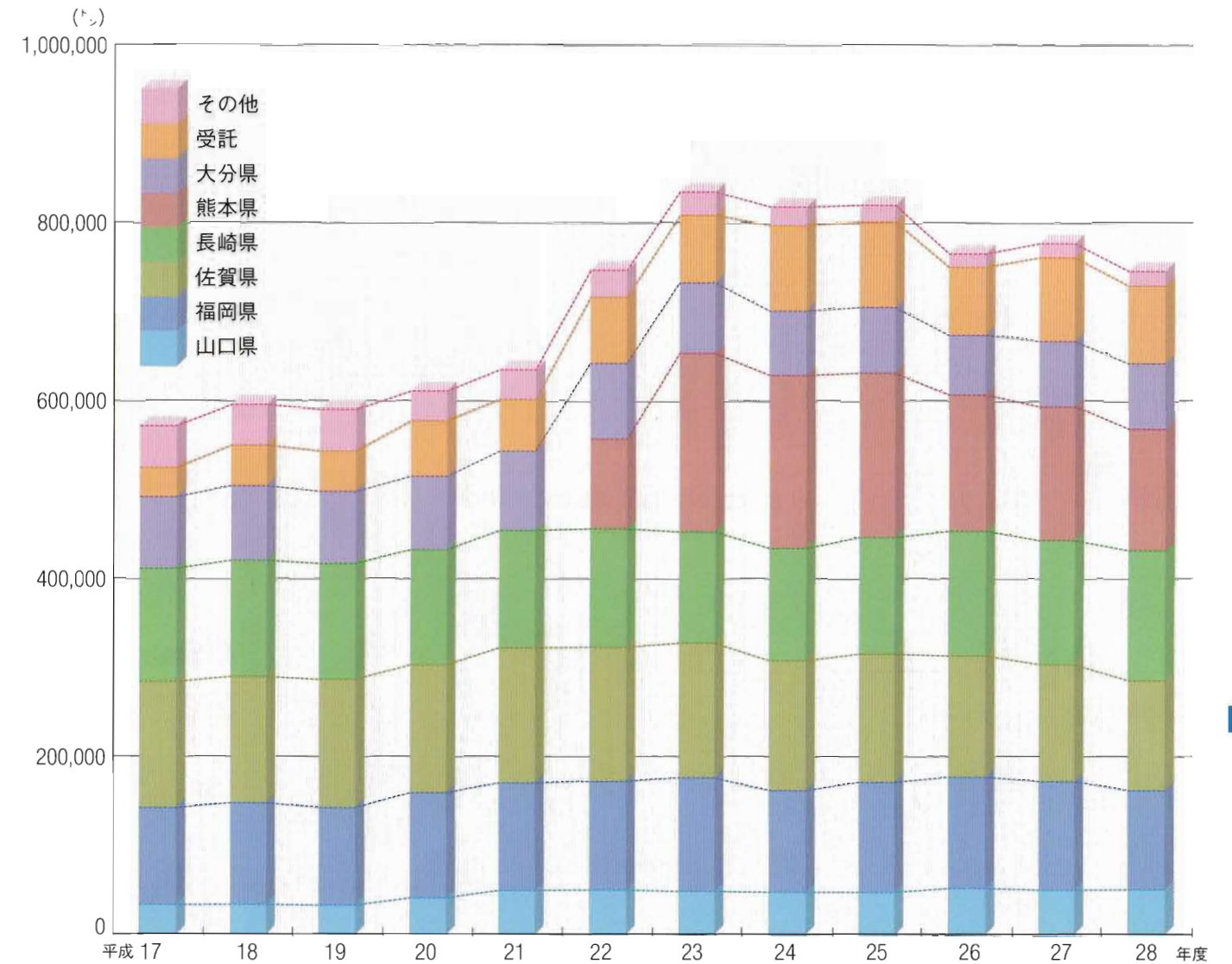
工場別出荷量の推移



区分 年度	出荷数量 (トン)				計 (トン)	前年比 (%)	構成比 (%)			
	福岡工場	長崎工場	熊本工場	大分工場			福岡工場	長崎工場	熊本工場	大分工場
平成 17 年度	195,528	266,873		86,587	548,988	102.9	35.6	48.6		15.8
平成 18 年度	206,191	273,866		89,664	569,721	103.8	36.2	48.1		15.7
平成 19 年度	200,126	276,390		87,064	563,580	98.9	35.5	49.1		15.4
平成 20 年度	212,400	272,654		88,437	573,491	101.8	37.1	47.5		15.4
平成 21 年度	225,958	270,947		91,477	588,382	102.6	38.4	46.0		15.6
平成 22 年度	238,187	269,520	※ 101,427	90,142	699,276	118.8	34.1	38.5	※ 14.5	12.9
平成 23 年度	233,623	263,851	199,702	89,352	786,528	112.5	29.7	33.5	25.4	11.4
平成 24 年度	225,744	268,029	192,966	89,107	775,846	98.6	29.1	34.5	24.9	11.5
平成 25 年度	213,473	288,791	182,041	89,356	773,661	99.7	27.6	37.3	23.5	11.6
平成 26 年度	196,814	273,397	154,380	92,498	717,089	92.7	27.5	38.1	21.5	12.9
平成 27 年度	207,149	270,828	160,436	97,644	736,057	102.6	28.1	36.8	21.8	13.3
平成 28 年度	205,640	257,975	154,866	98,206	716,687	97.4	28.7	36.0	21.6	13.7

※平成 22 年 10 月
合併以降の実績

県別出荷量の推移

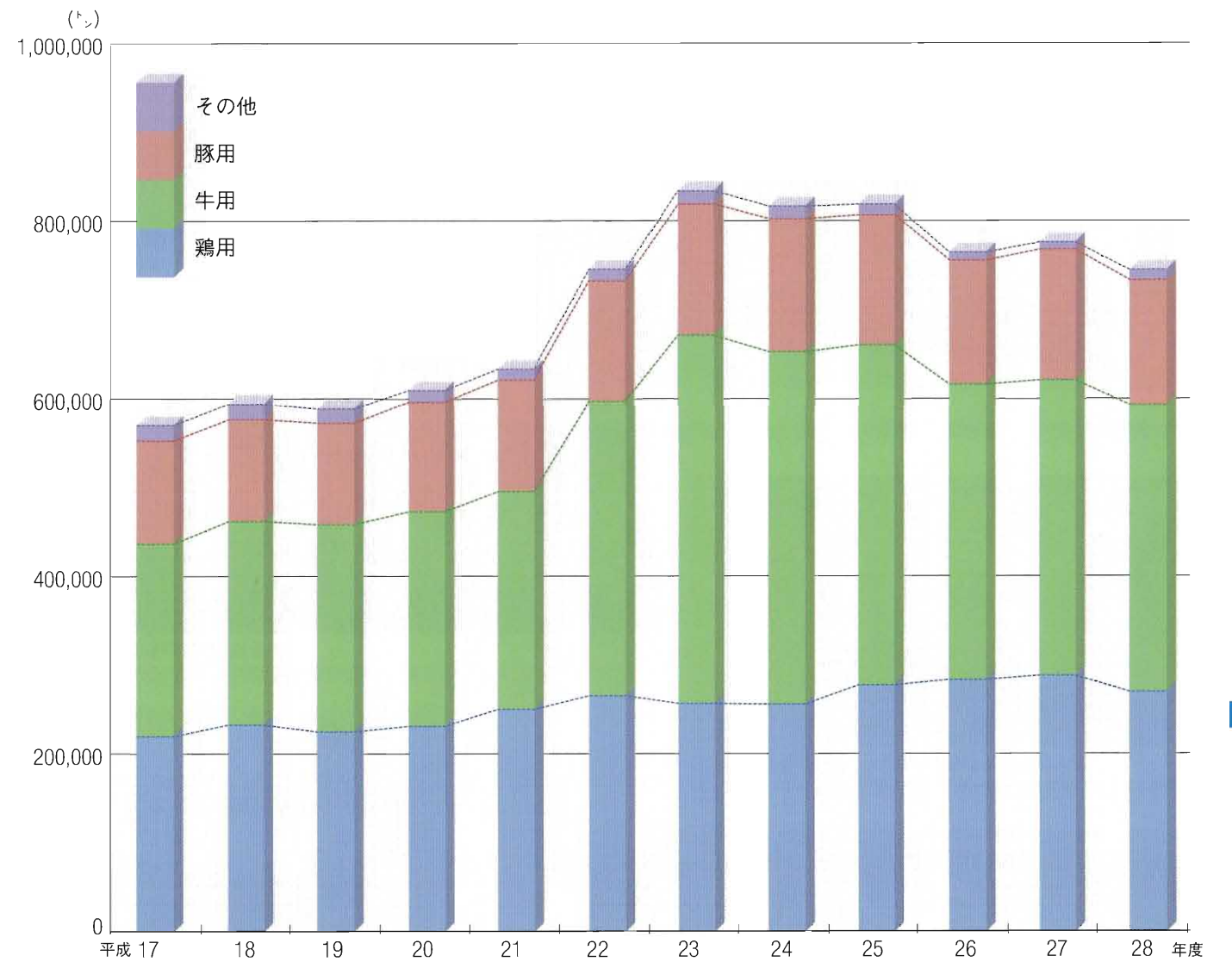


出荷量の推移／県別

区分 年度	出荷数量 (ト)							計 (ト)	前年比 (%)	構成比 (%)								
	山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	受託			その他	山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	受託	その他
平成 17 年度	33,688	108,867	141,941	127,679		80,323	32,829	46,762	572,089	102.0	5.9	19.0	24.8	22.3	14.1	5.7	8.2	
平成 18 年度	33,974	114,302	141,826	131,107		83,620	45,578	45,877	596,284	104.2	5.7	19.2	23.8	22.0	14.0	7.6	7.7	
平成 19 年度	32,904	109,728	144,155	130,864		80,792	45,252	46,813	590,508	99.0	5.6	18.6	24.4	22.2	13.7	7.6	7.9	
平成 20 年度	41,219	118,070	144,231	129,807		82,079	62,564	33,402	611,372	103.5	6.8	19.3	23.6	21.2	13.4	10.2	5.5	
平成 21 年度	49,648	121,383	151,835	132,188		88,451	58,414	33,208	635,127	103.9	7.8	19.1	23.9	20.8	13.9	9.2	5.3	
平成 22 年度	49,903	123,029	150,667	133,001	※ 100,730	85,513	74,676	30,237	747,756	117.7	6.7	16.5	20.1	17.8	※ 13.5	11.4	10.0	4.0
平成 23 年度	48,546	128,398	151,340	124,979	201,139	79,314	75,795	26,207	835,718	111.8	5.8	15.4	18.1	14.9	24.1	9.5	9.1	3.1
平成 24 年度	47,619	114,527	146,295	126,581	194,798	72,182	95,852	20,678	818,532	97.9	5.8	14.0	17.9	15.5	23.8	8.8	11.7	2.5
平成 25 年度	47,315	124,455	144,029	131,530	185,227	73,618	96,278	17,984	820,436	100.2	5.8	15.2	17.5	16.0	22.6	9.0	11.7	2.2
平成 26 年度	52,154	125,333	136,274	140,725	153,638	66,729	76,623	14,825	766,301	93.4	6.8	16.4	17.8	18.4	20.0	8.7	10.0	1.9
平成 27 年度	50,364	122,401	131,536	139,579	151,081	72,980	94,035	15,645	777,621	101.5	6.5	15.8	16.9	17.9	19.4	9.4	12.1	2.0
平成 28 年度	50,459	111,903	123,308	146,962	136,573	74,082	87,488	15,992	746,767	96.0	6.8	15.0	16.5	19.7	18.3	9.9	11.7	2.1

※平成 22 年 10 月
合併以降の実績

畜種別出荷量の推移



出荷量の推移／畜種別

区分 年度	出荷数量 (ト)				合計 (ト)	前年比 (%)	構成比 (%)			
	鶏用	牛用	豚用	その他			鶏用	牛用	豚用	その他
平成 17 年度	220,662	217,305	116,046	18,076	572,089	103.4	38.6	38.0	20.3	3.1
平成 18 年度	233,773	229,700	114,992	17,819	596,284	104.1	39.2	38.5	19.3	3.0
平成 19 年度	225,975	233,794	114,534	16,205	590,508	98.9	38.3	39.6	19.4	2.7
平成 20 年度	232,229	241,847	124,272	13,024	611,372	103.4	38.0	39.6	20.3	2.1
平成 21 年度	251,110	245,643	126,241	12,133	635,127	103.8	39.5	38.7	19.9	1.9
平成 22 年度	266,319	332,691	135,388	13,358	747,756	117.6	35.6	44.5	18.1	1.8
平成 23 年度	257,845	415,499	147,507	14,867	835,718	111.6	30.9	49.7	17.6	1.8
平成 24 年度	256,727	397,918	149,700	14,187	818,532	97.9	31.4	48.6	18.3	1.7
平成 25 年度	278,226	383,877	146,341	11,992	820,436	100.0	33.9	46.8	17.8	1.5
平成 26 年度	284,209	333,811	139,108	9,173	766,301	93.2	37.1	43.6	18.1	1.2
平成 27 年度	289,021	333,827	146,483	8,290	777,621	101.5	37.2	42.9	18.8	1.1
平成 28 年度	270,849	324,363	139,908	11,647	746,767	96.0	36.3	43.4	18.7	1.6